

開放授業 募集要項

平成30年度前期 (平成30年4月～平成30年7月)



- 授業期間** : 平成30年4月9日(月)～平成30年7月25日(水)までを予定
(1科目につき、週1回・全15回の講義)
- 受講資格** : 18歳以上の方
- 募集定員** : 各科目若干名(応募者が定員を上回った場合は抽選)
- 受講料** : 1科目5,000円(別途、テキスト代の費用負担が生じる場合あり)
- 対象科目** : 別途定める科目 ※講義の日時・内容は変更になる場合があります。予めご了承ください。
- 申込方法** : 募集要項の「開放授業申込書」を持参、郵送またはFAXで申込
- 申込先** : 宮崎公立大学 地域研究センター 開放授業窓口
(TEL : 0985-20-4772 FAX : 0985-20-4773)

申込締切 3月20日(火) ※必着

目次

| | |
|------------|---|
| 1. 開放授業の概要 | 1 |
| 2. 受講までの流れ | 1 |
| 3. 受講に際して | 2 |
| 4. お問い合わせ先 | 3 |
| 5. 申込上の注意 | 4 |
| 6. 科目一覧 | 5 |
| 7. 科目一覧早見表 | 9 |

1. 開放授業の概要

開放授業とは、宮崎公立大学の講義の一部を地域住民の皆さまに公開し、学生と一緒に授業を受けることができる取り組みで、平成20年度から実施しています。

開放授業は大学の正規の授業を公開していますので、授業内容は受講者の方に特別に配慮したものではありません。授業中の質問等も学生を優先させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

2. 受講までの流れ

① 受講希望科目の決定

- ・募集要項内の「6. 科目一覧」（5～8ページ）をご参照の上、受講したい授業を決めてください。
- ・申込科目数に制限はありませんが、「6. 科目一覧」に記載の募集人員を超えた場合、受講できない場合があります。

② 必要書類の提出

- ・「開放授業申込書」を平成30年3月1日（木）から3月20日（火）までに下記の開放授業窓口
に直接提出していただくか、郵送（3月20日（火）必着）またはFAX（FAX番号：0985-20-4773）で申し込みください。（直接提出の場合は、平日の9時～17時）

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階
宮崎公立大学地域研究センター 開放授業窓口 宛

③ 選定結果の通知

- ・募集人員に応じて抽選を行い、平成30年3月下旬頃に、申込者全員に選定結果を郵送によりお知らせする予定です。

④ オリエンテーションの実施

- ・受講決定者を対象としたオリエンテーションを、平成30年4月4日（水）に本学にて実施する予定です。内容は、特にご質問の多い時間割や休講・補講に関するを中心とした、受講に関する案内を予定しています。詳しくは別途ご案内します。

⑤ 受講料の納付

- ・受講料（5,000円）は、オリエンテーション実施日から該当する授業開始日までに、地域研究センター開放授業窓口にて現金で納付していただきます。なお、一旦納付された受講料は、理由のいかんを問わず、一切返還できませんのでご了承ください。

⑥受講者証の発行

・受講決定後、受講料を納入された方には、受講者証を発行しますので、学内では必ず携帯されるようお願いします。

3. 受講に際して

①受講者の義務

・受講者は、受講にあたり本学が行う教育及び研究に支障を来さないよう努めていただくとともに、担当教員の指示に従ってください。

②受講の停止

・受講者が本学の諸規定に違反した場合、学内の秩序を乱した場合、受講者としてふさわしくない言動をした場合、または授業の進行に支障があると担当教員が判断した場合は、受講を停止することがあります。なお、受講停止の場合であっても、納付済みの受講料は返還いたしません。

③単位認定について

・開放授業の受講者には、単位認定はできません。

④定期試験について

・定期試験の受験はできませんのでご了承ください。

⑤テキスト代について

・受講者が授業で使用するテキスト代は、受講料に含みません。別途、受講者の個人負担となります。テキストは受講決定後、学内で販売しますので、追ってご案内します。

⑥休講・補講について

・担当教員の出張等によって授業ができない場合は、休講になります。その際は、連絡事項を学内の掲示板（インフォメーションホール内）に掲示します。原則として、緊急な場合を除いて受講者の皆様への電話等による休講等の連絡は行いません。

・休講が生じた場合には、その都度補講を実施していきます。補講は、主として月・火・金の6時限（18:00～19:30）や6月～7月の土曜日に随時開講します。よって補講は、通常の間割とは異なる曜日・時限で受講していただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

⑦連絡先の変更

・お申込み後、連絡先が変更になった場合は、開放授業窓口まで速やかにご連絡をお願いします。

⑧通学方法

・車で通学される方は、大学の東側駐車場をご利用ください。東側駐車場に空きがない場合は、体育館北側駐車場をご利用ください。ただし、駐車場内及び敷地内でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承ください。

⑨施設の利用

・受講者は、本学図書館、売店・食堂等の施設を利用することができます。

⑩学内でのWi-Fi利用

・受講者は、申請を行うことで本学の学内Wi-Fiを利用することができます。

4. お問い合わせ先

開放授業に関するお問い合わせは、下記窓口までお願いします。

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階
宮崎公立大学地域研究センター 開放授業窓口
TEL：0985-20-4772 / FAX：0985-20-4773
執務時間：月～金曜（祝日を除く） 9:00～17:00

5. 申込上の注意

① 授業時間は下記のとおりです。

| | | | | | |
|------|-----|-------------|------|-----|------------------|
| <午前> | 1時限 | 8:50~10:20 | <午後> | 3時限 | 13:00~14:30 |
| | 2時限 | 10:30~12:00 | | 4時限 | 14:40~16:10 |
| | | | | 5時限 | 16:20~17:50 |
| | | | | 6時限 | 18:00~19:30 (補講) |

② 講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

③ 受講者の選定については、科目ごとの応募者が定員を上回った場合には、「抽選」により受講者を選定します。

④ 今回開講する11科目は、基幹科目となっています。これらの科目はカリキュラム上、専門基礎科目と呼ばれる専門的な知識の基礎を学んだことを前提に開講される科目であり、若干、内容が難しくなります。その点を踏まえて、受講をご検討ください。

6. 科目一覧

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

| | |
|---|-----------------------|
| 1 現代英文法 | 【福田 稔 教授】 月曜5時限 定員：5名 |
| 【講義内容】 この授業では、英語の文型と英単語の品詞について教科書を読み、問題を解きながら理解してゆく。特に、主語・目的語・補語といった文法関係の理解、名詞、代名詞、形容詞、冠詞、副詞、動詞、助動詞、前置詞の分類や特徴を扱う。内容は平成29年度とほぼ同じの予定である。毎回の授業では事前に教科書を20～30ページ読む「読書課題」が出される。授業は受講生が「読書課題」を済ませているという前提で進行する。内容理解の確認のために中間テストと期末テストを実施する。 | |
| 【受講生へのメッセージ】 受講生は高校1～2年程度までの基礎的な英語を理解し、英文法に興味があるという前提で授業を進めてゆく。英和辞典も利用する予定である。 | |

| | |
|---|-------------------------|
| 2 英米文学概論 | 【村上 幸太郎 助教】 月曜2時限 定員：5名 |
| 【講義内容】 この授業では、英米の代表的な文学作品（小説、詩、演劇）を年代順に概観し、作品内で描かれている欧米文化や歴史に関する理解を深めることを目標とします。文学作品に原文で触れることによって、各ジャンルの表現技法の特徴や、英語独特の表現の面白さなどを学んでもらいたいと思っています。また、映画やTVドラマなども用いて、受講生の作品理解を深めていきたいと考えています。 | |
| 【受講生へのメッセージ】 授業で配布する資料はすべて英語で書かれています。日本語で解説は加えますが、ある程度受講生が英語を理解していることを前提に話を進めますので、その点ご了承ください。 | |

| | |
|---|------------------------|
| 3 歴史学 | 【大賀 郁夫 教授】 月曜3時限 定員：5名 |
| 【講義内容】 人間は感情の生物であり、すべての人が同じ感じ方・考え方をするという事はあり得ない。ひとつの歴史事象に対しても、その人の置かれた立場（身分・役職・年齢・人間関係など）によって関心も異なるだろうし、評価も分かれるだろう。しかし、そうだからといって、誰でもが自分勝手に歴史を認識・解釈してよいということにはならない。歴史を認識するためには、人類が過去から培い学んできた「歴史的教訓」を学ばなければならない。講義では歴史事象を取り上げ、そこから歴史をより正しく認識し理解するための方法を学ぶことを目的とする。 | |
| 【受講生へのメッセージ】 歴史は「現在と過去との間の尽きることを知らぬ対話（E.H.カー）」といわれます。過去と真剣に向かい合い、歴史と対話することによって、歴史とは何か、日本人とは何かを考えてみましょう。 | |

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

| | |
|--|-----------------------------|
| 4 異文化間コミュニケーション | 【ネイサン ダッカー 准教授】 金曜4時限 定員:3名 |
| 【講義内容】 | |
| In a rapidly changing world we have increasing opportunities for intercultural contact; for example, foreigners living in Japan, Japanese traveling or moving abroad, people enjoying foreign culture such as TV and books. This lecture is designed to reveal some of the main themes in intercultural communication that may hinder or aid communication when we come into contact with each other. Additionally, by studying intercultural communication we can look at our own culture(s) and understand modern Japanese culture better than before. | |
| 【受講生へのメッセージ】 | |
| Come to class with an open mind and be ready to look at your own culture as well as many others. | |
| ※お申込みの際のご注意※ | |
| 1) 講義はすべて英語で行われます。 | |
| 2) 講義中に英語でのディスカッションを行いますので、必ず学生と一緒に積極的に参加していただくこととなります。 | |
| 3) この科目の受講を希望する方は、①この科目に興味がある理由②自分の英語のレベルについて、英語200単語程度で作成し、開放授業申込書の受講希望理由の欄の注記に従い、提出してください。 | |
| 4) この科目の講義で使用する教材の例として、インターネット上で下記のURLから動画を視聴し、ご自身で大まかな内容が理解できるかどうかを確認してください。 ■URL: https://www.youtube.com/watch?v=fbqHz__AWYM | |
| 5) 講義の中で、スマートフォンまたはタブレットを使用しますので、ご自身でご用意ください。 | |
| 6) 講義中ディスカッションに参加できていない等、授業の進行に支障があると担当教員が判断した場合は、途中で受講をお断りさせていただく場合もございます。(なお、この場合も納付済みの受講料5000円は返還いたしません。) | |
| ◎上記の注意1~6についてご了承を頂いた上でお申込みいただきますよう、お願いいたします。 | |

| | |
|---|------------------------|
| 5 中国文化論 | 【田宮 昌子 教授】 月曜1時限 定員:5名 |
| 【講義内容】 | |
| “中国”は古い文明国であるだけでなく、21世紀の世界秩序形成に深く関わる勢力です。国際文化学科に学ぶ学生ならば、中国について特別な知識がなくても、新世紀の国際社会における主役の一つとしてその存在感は意識しているでしょう。しかし、学生の中国認識は概ね漢文の授業や漫画などで触れた「古典中国」と、マスコミ報道で触れる改革開放後の「現代中国」に分裂しているようです。ワールドニュースを賑わす外交交渉や中国市場でのビジネスチャンスに目を引かれる向きには「古典中国」は今現在とは接点のない死んだ世界に映りがちであるし、一方「古典中国」愛好者にはいま目の前にある「現代中国」は自分の愛する世界とは容易に結びつかない取っ付きにくい存在に見えがちです。しかし、これら二つは有機的な繋がりを持った不可分の一体です。本講義の狙いは、この隔絶を埋めること、国際人として活躍すべく本学に学ぶ学生に対し、現代国際社会を形成する一要素としてのトータルな中国理解を培うことを狙いとします。 | |
| 【受講生へのメッセージ】 | |
| 本講義は長年上記の趣旨のもと開講して来ていますが、具体的内容や重点は毎年異なります。近年は「ふたつの中国」～「古典中国」と「現代中国」～の繋がりを日本が歴史的に中国と持ってきた関係と絡めながら見ていきます。「日本は中国とどう向き合ってきたのか」「日本にとって中国はどのような存在であったのか」「この地域に開かれるべき相互関係はどのようなものであるのか」…このような一連の問いについて考える手がかりを提示したいと思います。 | |

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

| | | |
|--|------------|----------------------|
| 6 | 英語史 | 【福田 稔 教授】木曜2時限 定員:3名 |
| 【講義内容】 英語がどのように変化してきたのか。また、現代英語は英語の歴史とどのように関係しているのか。これがこの授業のテーマである。授業が進む中で、現代英語の謎が解ける箇所が多々あるだろう。内容は平成29年度とほぼ同じの予定である。毎回の授業の前に、教科書を20～30ページ読む読書課題が与えられる。この課題を済ませているという前提で授業は進められる。また、内容理解の確認のために中間テストと期末テストを実施する。 | | |
| 【受講生へのメッセージ】 「英語学概論」と「英米文学概論」を既に履修していることを前提として、授業を進めてゆく予定である。 | | |

| | | |
|--|--------------|-----------------------|
| 7 | 社会心理学 | 【川瀬 隆千 教授】金曜4時限 定員:5名 |
| 【講義内容】 社会心理学では、私たちがどのようにして人間関係や社会を築き、それを維持し、発展させていくのかという問題について考えていきます。私たち一人一人が人間関係や社会とどのように関わっているのか、また、人間関係や社会は個人にどのような影響を与えるのかという個人と社会の相互規定関係について検討します。 | | |
| 【受講生へのメッセージ】 講義は一方的に内容を説明する場ではなく、双方向のコミュニケーションによって内容を深める場としたいと思います。 | | |

| | | |
|---|------------|-----------------------|
| 8 | 社会学 | 【倉 真一 准教授】月曜2時限 定員:5名 |
| 【講義内容】 社会学は人々がとり結ぶ関係のなかで生じる現象である限り、どんな社会も社会現象でも考察の対象とすることが出来る。そのための理論や方法は多様であるが、社会学が「学」である以上、共通したものの見方・考え方は確かに存在する。社会学が「理論」や「方法」を用いて、どのように社会を読み解いていくのか、社会の見方・考え方のヒントを是非つかんで欲しい。 | | |
| 【受講生へのメッセージ】 社会学をやることの第一歩、それは自分や世間の常識を一度は疑い、括弧に入れることから始まる。その先にある、いままで当たり前だったものが、違った様に見える、発見や気づきの瞬間の知的な興奮をぜひ味わってほしい。 | | |

| | | |
|---|------------|-------------------------|
| 9 | 法律学 | 【田村 恵理子 准教授】月曜3時限 定員:5名 |
| 【講義内容】 「社会あるところに法あり」は有名な法ことわざですが、より重要なことは「社会」のありようによって法の姿や意義も変化するということです。現代の日本「社会」にはどのような法が、どのような目的や意味を持って存在しているのでしょうか。 本講義では、日本社会で現に通用している基本的な法—憲法、民事法、刑事法—を対象に、それらの骨組みと概要を学び、近年生じている出来事とどのように適用されているかを考えます。 昨年と同じハンディで要領のよいテキストを用いますが、講義内容には最近の動向をできる限り反映しますので、昨年の講義と同一ではありません。 | | |
| 【受講生へのメッセージ】 初学者にとって法は、その特殊な用語・表現や、独特の物の捉え方のために、難しいと感じられるでしょう。しかし本講義を通じて少しでも「とっつきにくさ」が払拭され、さらに一歩進んで、具体的に法の成り立ちや機能を理解する喜びを味わっていただければ、大変すばらしく思います。 | | |

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

| | | |
|---|----------------|------------------------|
| 10 | 中国政治経済論 | 【稲田 光朗 助教】 月曜2時限 定員:5名 |
| 【講義内容】 本講義は、改革開放政策開始以来30年以上に渡る著しい中国の経済発展を中心的テーマとして取り上げ、開発経済、移行経済、国際貿易の観点から学習します。本講義では教科書と講義ノートを利用します。扱われるトピックスは中国における経済成長の過去と将来、計画経済から市場経済への移行、労働市場、外資系企業からの技術導入、国有企業の役割、WTO加盟と技術移転、民間企業の発展と産業集積、中国経済の今後の課題を含みます。 | | |
| 【受講生へのメッセージ】 講義では、中国経済を理解する上で必要なミクロ経済学やマクロ経済学、国際経済学の基礎理論や専門用語について、できる限り補足説明を行います。みなさまの講義への積極的な参加を歓迎します。なお、本年度の講義内容は昨年度のもの大きく変わりません。 | | |

| | | |
|---|------------|------------------------|
| 11 | 経営学 | 【市村 陽亮 助教】 月曜5時限 定員:5名 |
| 【講義内容】 経営学全般に関する基礎的な知見とともに、事例を用いて、実際に生じていることを紐解きながら経営学のホットトピックについても学ぶ予定です。ただ、理論を学ぶだけでなく、また事例だけを知るわけでもなく、両方を関連させて学び、また考えることができるようになることを目指します。基礎的な知識についても講義する予定ですが、自学自習を行うことも求めますので、参考書などを学んでいる前提で話もいたします。 講義中に適時、映像を利用したり、ディスカッションやワークを行います。ただ学ぶだけでなく、自身で身につけた知識を積極的に活用する場になるようにしたいと思います。また、可能であれば、ゲスト講師を呼んでの授業も実施したいと考えています。 | | |
| 【受講生へのメッセージ】 本講義は、本学2年生向けの講義であるため、基礎的な内容になります。教科書レベルであるため、応用レベルを学びたい方には不向きです。また、会計に関する講義は行いませんので、会計を学びたい方にもお応えできませんので、ご注意ください。参考書などについては、目を通していただきますと、より理解が進むかと思えます。 | | |

7. 科目一覧早見表

①科目一覧

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

| No. | 科目名 | 担当 | 時間割 (曜・時限) |
|-----|---------------|------|---------------|
| 1 | 現代英文法 | 福田 | 月・5 |
| 2 | 英米文学概論 | 村上 | 月・2 |
| 3 | 歴史学 | 大賀 | 月・3 |
| 4 | 異文化間コミュニケーション | ダッカー | 金・4 |
| 5 | 中国文化論 | 田宮 | 月・1 |
| 6 | 英語史 | 福田 | 木・2 |

| No. | 科目名 | 担当 | 時間割 (曜・時限) |
|-----|---------|-------|---------------|
| 7 | 社会心理学 | 川瀬(隆) | 金・4 |
| 8 | 社会学 | 倉 | 月・2 |
| 9 | 法律学 | 田村 | 月・3 |
| 10 | 中国政治経済論 | 稲田 | 月・2 |
| 11 | 経営学 | 市村 | 月・5 |

②授業時間

[午前]

1時限 8:50~10:20

2時限 10:30~12:00

[午後]

3時限 13:00~14:30

4時限 14:40~16:10

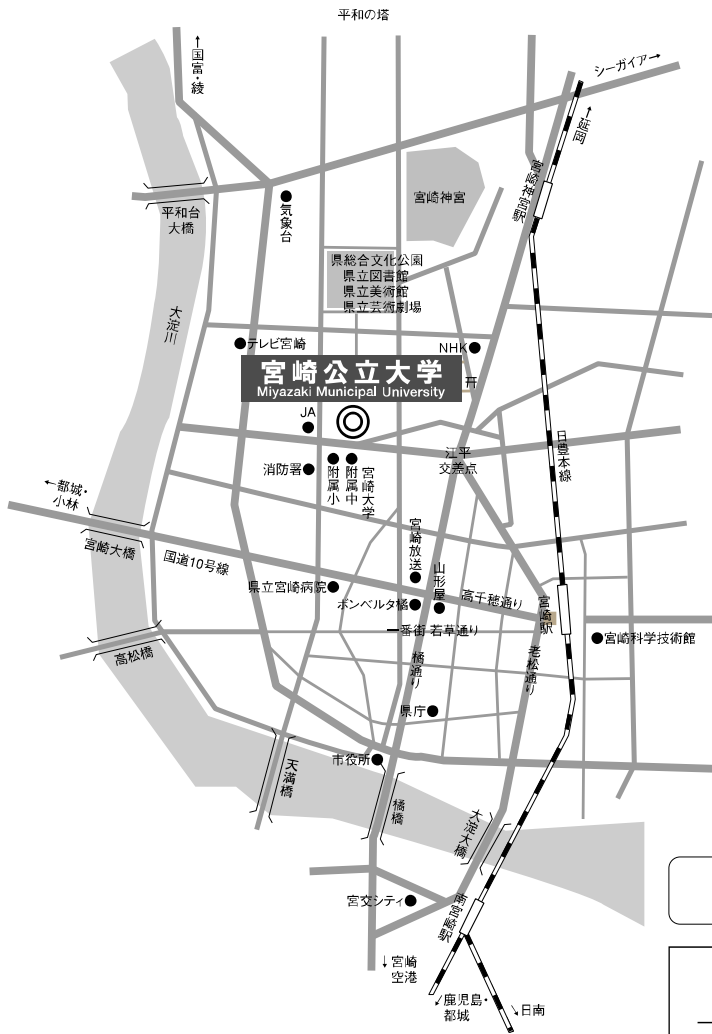
5時限 16:20~17:50

6時限 18:00~19:30 (補講)

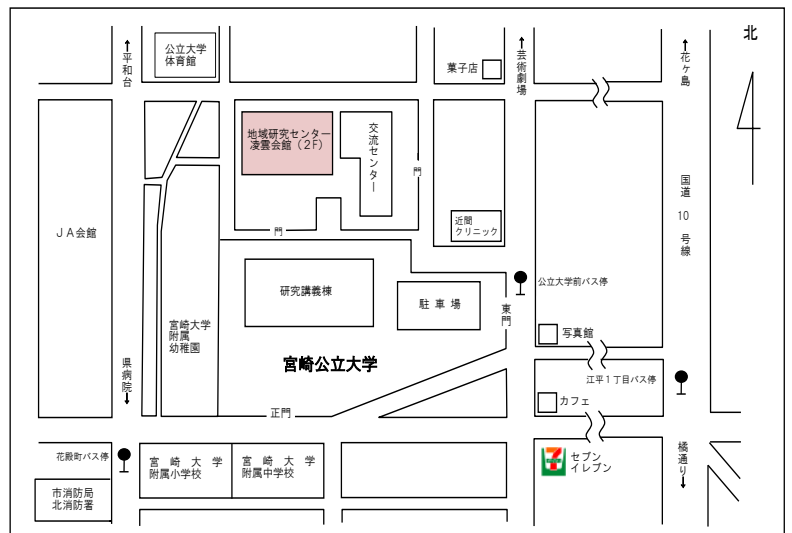
③曜日別一覧

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---------|---|---|-----|---------------|
| 1 | 中国文化論 | | | | |
| | | | | | |
| 2 | 社会学 | | | 英語史 | |
| | 中国政治経済論 | | | | |
| | 英米文学概論 | | | | |
| 3 | 法律学 | | | | |
| | 歴史学 | | | | |
| 4 | | | | | 異文化間コミュニケーション |
| | | | | | 社会心理学 |
| | | | | | |
| 5 | 現代英文法 | | | | |
| | 経営学 | | | | |

宮崎公立大学位置図



拡大図



[交通案内]

- 徒歩 JR宮崎駅から約25分
- 乗用車 JR宮崎駅から約5分
- バス 宮崎交通バスにて宮交シティ(バスセンター)から約30分
(大学最寄りのバス停は「花殿町」または「公立大学前」または「江平一丁目」)

宮崎公立大学 地域研究センター

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階

TEL : 0985-20-4772 FAX : 0985-20-4773